

PORTS OF OSAKA PREFECTURE



公龍丸

TOPICS

- 大阪府市統合本部の検討状況について 1
- 堺泉北港堺2区に西日本初の「基幹的広域防災拠点」が完成。
- 供用式典及び陸・海・空9機関による合同防災訓練の実施 2
- インドネシア合板貨物の今後 4
- 新たな津波対策の取り組み 5
- 阪南港海岸 忠岡・岸和田地区南水門改良工事完成 6
- 国際コンテナ貨物拡大助成事業補助金申請随時受付中 7

EVENT

- 海の月間実施計画決まる 8
- 「第52回親と子の写生会」で大阪府港湾協会賞贈呈 8
- こどもネットワーク大阪湾クルーズ開催～こども洋上防災宣言～ 9
- 第2回堺泉北港ドラゴンボート大会開催 9

PORT NEWS

- 平成23年 大阪府営港湾の港勢 10
- 大阪府営港湾ポートセミナー開催 13
- 大阪府営港湾国際経済セミナー開催 14
- 大阪府営港湾新人研修会実施 14
- WELCOME! 世界からのお客様 15
- ようこそ大阪府営港湾へ～初入港のご紹介～ 15

INFORMATION

- 運営委員会 16

大阪府の みなと

2012.7
No.101

PORTS of OSAKA PREFECTURE

No.101 大阪府港湾協会

C·O·N·T·E·N·T·S

TOPICS

大阪府市統合本部の検討状況について	1
堺泉北港堺2区に西日本初の「基幹的広域防災拠点」が完成。 供用式典及び陸・海・空9機関による合同防災訓練の実施	2
インドネシア合板貨物の今後	4
新たな津波対策の取り組み	5
阪南港海岸 忠岡・岸和田地区南水門改良工事完成	6
国際コンテナ貨物拡大助成事業補助金申請随時受付中	7

EVENT

海の月間実施計画決まる	8
「第52回親と子の写生会」で大阪府港湾協会賞贈呈	8
こどもネットワーク大阪湾クルーズ開催～こども洋上防災宣言～	9
第2回堺泉北港ドラゴンボート大会開催	9

PORT NEWS

平成23年 大阪府営港湾の港勢	10
大阪府営港湾ボートセミナー開催	13
大阪府営港湾国際経済セミナー開催	14
大阪府営港湾新人研修会実施	14
WELCOME! 世界からのお客様	15
ようこそ大阪府営港湾へ ～初入港のご紹介～	15

INFORMATION

運営委員会	16
-------------	----

大阪府市統合本部の検討状況について

大阪府港湾局経営振興課経営振興グループ

平成23年12月27日に、大阪府と大阪市が、互いに十分な協調関係を保ちながら、自治体の垣根にとらわれることなく限られた財源や人員等の経営資源の重点化を図り、効率的な自治体経営を実現するとともに大阪都市圏の成長をけん引していくため、大阪府市統合本部が設置されました。

大阪府市統合本部では、大都市制度の検討や広域行政・二重行政の仕分けを行うとともに、府市共通の重要事項の協議などを行うこととしており、経営形態を変更する項目の1つとして「港湾」が位置づけられました。

このため府市双方の職員によるタスクフォース(TF)を組織し、大阪湾諸港のあるべき姿として、

- ①大阪湾諸港の港湾管理の一元化
- ②民間活力を取り入れた機動的かつ効率的な港湾運営への変革

を目指し、あるべき姿を見据えた経営形態の見直しについて検討を進めてきました。

基本的な考え方として、大阪湾諸港の港湾管理の一元化については、府市に加え、将来的には兵庫県、神戸市の港湾も含めた一元化を行うこととし、その第一ステップとして府市港湾の統合を実現し、統合による効果を早期に発現させることとしています。



これまで府市港湾統合後の経営形態について検討を進めてきましたが、6月19日の大阪府市統合本部会議において、以下の基本方針が示されました。

大阪湾諸港の港湾管理の一元化の第一ステップとして、物流に特化し、また機動的・柔軟なサービスの提供が可能な「新港務局」により、府市の港湾管理者の統合(大阪港・堺泉北港・阪南港)を目指す。

「新港務局」の設立には、物流に特化した組織形態とするための海岸法などの改正や、安定した経営基盤を維持するための地方税法の改正など、法制度の改正が必要不可欠です。また、「新港務局」の経営基盤を確立させるためには、財産・債務の整理が必要など整理すべき課題が山積しております。

大阪府港湾局では、今後、これらの課題を1つ1つクリアしながら、府市港湾の統合に向けた取り組みを進めて参ります。

堺泉北港堺2区に西日本初の「基幹的広域防災拠点」が完成。供用式

京阪神都市圏における大規模地震発生時の広域災害対策拠点として、平成20年度から堺2区において国土交通省近畿地方整備局が整備を進めてきた基幹的広域防災拠点（近畿圏臨海防災センター及び緑地・臨港道路・耐震強化岸壁）が、平成24年4月1日に供用開始し、これを記念して、近畿地方整備局と大阪府の共催により、供用式典及び陸・海・空9機関による合同防災訓練を行いました。

■基幹的広域防災拠点の主要構成施設■

緑地
面積27.9ha
【平成24年4月1日供用開始】

近畿圏臨海防災センター
支援施設棟、倉庫棟、車庫棟で構成
【平成24年4月1日供用開始】

臨港道路
延長3.5km
【平成21年度供用済】

耐震強化岸壁
水深7.5m 延長130m
【平成23年度供用済】

■基幹的広域防災拠点の機能■

発生が危惧されている上町断層帯地震や東南海・南海地震等の大規模災害の発災時に、救援物資の中継基地や被災地支援隊のベースキャンプ、あるいはヘリコプターによる災害医療支援など重要な機能を担うとともに、平常時には、緑地は市民の憩いの広場として活用できます。

<p style="text-align: center;">救援物資の中継・分配機能</p> <p>被災地域外から被災地域内への救援物資の中継輸送、集積、荷さばき、分配等を行う、各種交通基盤のネットワークと連携した救援物資の中継分配機能。</p>	<p style="text-align: center;">広域支援部隊の集結地、キャンプ機能</p> <p>全国から集結する広域支援部隊や救護班、国内外からのNPO・ボランティア等の活動要員の一時集結、野営、連絡等を行うことができるベースキャンプ機能。</p>	<p style="text-align: center;">海上輸送支援機能</p> <p>海上を利用した緊急物資や人員の搬入・搬出を行うことができる耐震強化岸壁及び浮体式防災基地を活用した救援物資等の海上輸送支援機能。</p>
<p style="text-align: center;">応急復旧資機材の備蓄機能</p> <p>当該広域防災拠点の応急復旧資機材の備蓄機能。</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">平常時</p> <p>災害時にオープンスペースとして機能する広く平坦な港湾緑地を活用し、市民の憩いの場、防災啓蒙活動拠点として利用。</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">発災時</p> <p>耐震強化岸壁、ヘリポート、臨港道路を活用し、救援物資の受け入れ・中継・分配・搬送を行うとともに、広域支援部隊の集結地・ベースキャンプとして機能。</p> </div> </div>	
<p style="text-align: center;">災害医療支援機能</p> <p>臨時ヘリポートを活用し災害拠点病院などと連携した災害時医療の補完・支援機能。</p>		

典及び陸・海・空9機関による合同防災訓練の実施

大阪府港湾局

■供用式典及び合同防災訓練の概要■

日時：平成24年4月21日（土曜日）10時から11時40分
 場所：堺市堺区匠町3番2（堺2区）
 主催：国土交通省近畿地方整備局、大阪府



上総近畿地方整備局長

小河大阪府副知事

吉田国土交通副大臣

竹山堺市長

第1部：供用式典

- 式 辞：上総近畿地方整備局長
大阪府知事代理
小河副知事
- 挨拶：吉田国土交通副大臣
- 来賓祝辞：堺市長
- 来賓紹介：国会議員ほか
- セレモニー：テープカット&くす玉開披



第2部：合同防災訓練

- 目的：東南海・南海地震による大津波の発生を受けた基幹的広域防災拠点の運用を想定し、訓練を実施しました。近畿地方整備局をはじめ、自衛隊、海上保安庁など関係機関による合同防災訓練を実施し、防災・災害時救援機能の向上を図りました。
- 参加機関：近畿地方整備局、中部地方整備局、第五管区海上保安本部、陸上自衛隊、大阪府、大阪市消防局、堺市、大阪府堺警察署、(社)日本埋立浚渫協会
- 訓練内容：①広報・点検訓練 ②負傷者搬送訓練 ③航路啓開訓練 ④緊急物資受入れ訓練 ⑤緊急物資輸送訓練

①広報・点検訓練



②負傷者搬送訓練



③航路啓開訓練1



④緊急物資受入れ訓練



③航路啓開訓練2



③航路啓開訓練3



③航路啓開訓練4



⑤緊急物資輸送訓練1



⑤緊急物資輸送訓練2



■緑地の一般開放■

★平成24年4月末にグラウンドなど部分的に一般開放しました。今後、残る工事の進捗に合わせて、順次一般開放エリアを拡大していく予定です。



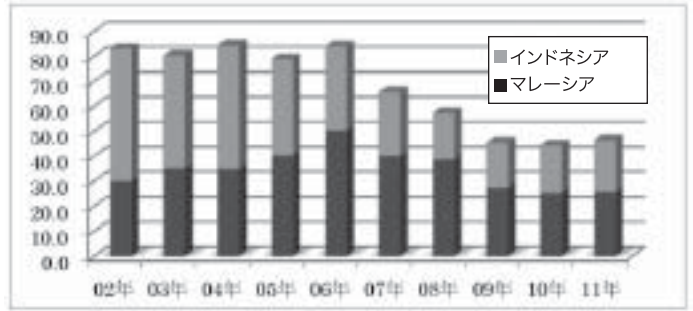
インドネシア合板貨物の今後

在大阪インドネシア共和国総領事館（ハディ総領事）、日本木材輸入協会（小川勝会長）のご尽力により、平成24年2月9日（木）ジャカルタにおいて、合板メーカー、政府と会合を持つことができ、堺泉北港をPRし、併せて今後の合板出荷、港湾に関して説明を受けました。

堺泉北港では、インドネシア、マレーシア両国の貨物が、バルク貨物として取り扱われている中で、住宅着工数の減少とともに近年南洋材合板の輸入量が減少し、減少幅はインドネシア産が顕著です。（グラフ参照）

インドネシア林業省から「森林に関するポテンシャルの低下は危惧していない。一時的に出荷量は下がったが、植林が企業や民衆の手で進んでいる。植林木を活用したハイブリッドな製品にトレンドが移っている。合法性の証明に力を入れて付加価値を高めつつ、持続可能な森林経営を続けていく」と伺いました。

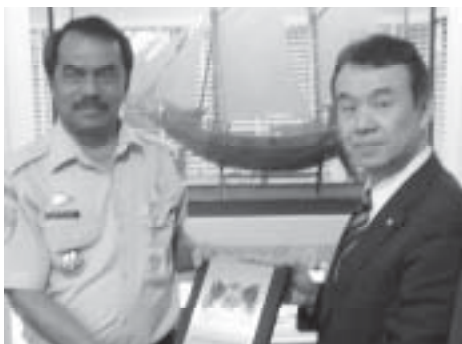
<堺泉北港 輸入合板貨物量の推移 税関貿易統計より(万㎡)>



インドネシア合板協会からは、「マレーシアでは林区に工場があるが、林区が奥地化したインドネシアは、出荷量が短期的に落ち込む。しかし、森林面積（インドネシア:131万ha、マレーシア:33万ha）の優位性からいずれインドネシアの時代がやってくる」と伺いました。



運輸省海運総局長から今後の港湾整備計画について「（フルコンテナ化する）メインポートの整備は、インドネシア全土で31港を対象にしており、合板の産地カリマンタン（ボルネオ）島では5港。2030年までに整備するよう海外投資を集める予定。すでに計画が具体化しているものは、取扱う貨物が石炭や鉱物原料など主力製品が明確な港」と伺いました。



Muhamad海運総局長



タンジュンプリオク港コンテナターミナル増設計画

新たな津波対策の取り組み

大阪府港湾局総務企画課危機管理グループ

昨年の3.11東日本大震災を踏まえて、内閣府から、今年3月31日、東海・東南海・南海地震の最新の地震動及び津波高さが公表されました。その公表された内容と、大阪府港湾局で本年度から実施予定の‘減災のまちづくり’事業について紹介します。

昨年の中央防災会議「東北地方太平洋沖地震を教訓とした地震・津波対策に関する専門調査会」の報告では、今後、地震・津波の想定を行うにあたっては「あらゆる可能性を考慮した最大クラスの巨大な地震・津波を想定し対策を検討していくべきである」とし、「最大クラスの想定地震、津波に基づき必要となる施設整備が現実的に困難と見込まれる場合であっても、ためらうことなく想定地震・津波を設定する必要がある」としています。今回、公表された震度分布・津波高さは、このような考え方に沿って推計されたもので、特に津波高さは、「発生頻度は極めて低いものの、発生すれば甚大な被害をもたらす最大クラスの津波」に相当するものです。このような最大クラスの津波に対しては、住民等の避難を軸に、土地利用、避難施設、防災施設等を組み合わせて、総合的な津波対策について対応する必要があります。

対象地震の規模としては、東日本大震災の教訓を踏まえた津波地震や広域破壊メカニズム等、あらゆる可能性を考慮した最大クラスのものとして推計したもので、東北地方太平洋沖地震と同様に、マグニチュード9クラス規模の巨大な地震・津波となっています。

沿岸市町の地震動については、岬町から泉佐野市までが、前回と比較すると‘6弱’から‘6強’へ一段階上がっています。貝塚市から堺市までは、前回と同じ‘6弱’となっています。

さらに、大阪府内の最大津波高さとしては、大阪府が平成15年度に公表した津波シミュレーション結果と比較した場合、0.2m下がる結果が出ています。

今回、計算格子(※)50mメッシュで算出した津波水位を公表しています。内閣府では、6月頃、10mメッシュのより精緻なシミュレーションの推計結果を公表する予定であり、今回の結果は変わり得るものとしています。ほぼ同時期に、人的・物的被害の想定を公表する予定としています。さらに秋頃、経済被害を想定し、公表する予定となっています。

この結果を踏まえ、大阪府では条件を精査し、地震動の設定及び津波シミュレーションを行い、これを基に大阪府の地域防災計画の見直しを本年度中に行う予定です。なお、大阪府のH15年度津波シミュレーションの2倍の津波高を想定した地域防災計画の修正を今年3月に行い、現在は、‘人命を守る’ことを最優先とした避難対策等を進めています。

※計算格子:津波のような流体の方程式を解くために、流体が流れる領域を細かく分割するもので、縦横に規則的に分割されているものを‘格子’と呼びます。細かく分割すればする程、計算の精度は上がりますが、一方、使用するメモリと計算時間も増加します。

大阪府港湾局では、東日本大震災を踏まえ、「防災」に加え「減災」の観点から“人命を守る”を最優先に津波対策の見直しを行います。また、‘減災のまちづくり’対策として、海岸保全施設等の総点検や二次災害が懸念される堤外地等における防災・避難対策に取り組みます。さらに、水門操作員の安全確保や臨海部の避難対策など人命を守る対策等について早期に重点的に実施します。

【防潮堤等の耐震・耐波力の総点検】国の中央防災会議や大阪府で実施する精緻な津波シミュレーションにより算出した新地震動及び新津波水位に対して、既設の防潮堤等が耐え得るかどうかの耐震・耐波力の総点検を行います。

【水門の遠隔操作化】3.11東日本大震災では、水門等を閉門する施設操作員が多数犠牲になったことを教訓として、水門へ直接行かなくても遠隔地で操作し、閉鎖できるシステムを整備します。操作員の安全確保を目的としています。

【門扉の電動化及び操作用照明灯の設置】現地において門扉をボタン一つで閉鎖できるシステムです。操作用の照明灯の設置とともに、閉操作の迅速化により、操作員の安全確保を目的としています。

【防潮堤門扉構造避難用階段の設置】津波及び高潮が発生した場合、浸水被害を防ぐために防潮堤に設置された門扉(鉄扉)を閉鎖します。閉鎖後に防潮堤の海側に人が残っていた場合、防潮堤を乗り越えて避難する事が困難となります。このため、海側から防潮堤を越えて堤内地へ避難できる様、階段を設置します。操作員の安全確保と海側に残った人々の速やかな避難を目的としています。

【水門及び排水機場の操作室耐水化】水門の操作室や排水機場の操作室が、津波により浸水すれば、操作室の機能が喪失され操作不能に陥ります。たとえ津波により浸水したとしても操作室に海水が入り込まない対策を行います。

【堤外地避難対策基礎調査】堤外地における被害想定やリスク軽減方策の検討を行い、堤外地に就労されている人々や海浜公園等を利用されている不特定多数の人々に対する避難計画書を作成するための指針を策定します。

【船舶津波対策】3.11東日本大震災では、船舶等の漂流物により2次災害が発生したことを教訓として、災害の連鎖を断ち切るため、船舶等による港湾施設への被害想定を行い、防災関係機関とともにその対策を検討します。

以上、3.11東日本大震災の教訓を踏まえた国の中央防災会議による東海・東南海・南海地震の最新の検証結果により、対策事業を進めています。今後も大阪府の地震・津波対策事業へのご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

【参考資料】市町別最大震度及び津波水位(T.P.表示、単位:m)一覧表

市町名	H24 最大震度 (内閣府)	H15 最大震度 (内閣府)	H24 最大津波水位 (内閣府)	H15 最大津波水位 (大阪府)
堺市	6弱	6弱	4.0	4.1
高石市	〃	〃	4.0	4.2
泉大津市	〃	〃	3.7	3.7
忠岡町	〃	〃	3.4	3.3
岸和田市	〃	〃	3.8	3.5
貝塚市	〃	〃	3.6	3.3
泉佐野市	6強	〃	3.5	2.8
田尻町	〃	〃	3.3	2.7
泉南市	〃	〃	3.2	2.4
阪南市	〃	〃	3.4	2.5
岬町	〃	〃	3.3	2.4

阪南港海岸 忠岡・岸和田地区南水門改良工事完成

大阪府港湾局阪南港湾事務所

1.はじめに

大阪府港湾局が所管している海岸の高潮対策事業は、昭和43年度から、伊勢湾台風級の超大型台風が満潮時に大阪湾にとって最悪のコースになる室戸台風コースで接近した場合を想定して、防潮堤や水門などの高潮対策事業を図ってきた。防潮堤の整備状況は、平成22年度末で約90%の進捗率である。

現在事業を進めている箇所は、主に堺市の出島石津地区・堺地区岬町の長松地区など約7.6km（H22年度末現在）あります。

当該南水門につきましては、岸和田市・忠岡町の阪南港海岸忠岡岸和田地区の延長200mにわたり高潮計画天端高に対し約80cmの不足高があり、平成17年度より事業に着手し、防潮堤の順次嵩上げ工事を行いほぼ概成しておりますが、木材コンビナート貯木場の北水門・南水門の両水門の高潮対策事業については、南水門を平成19年度より改良工事に着手し、本年8月に完成の運びとなりました。

2.経緯

現況の南水門（木材コンビナート）の計画・建設が昭和38～41年度に行われ、建設後40年以上経過し、老朽化対策と併せて現況の防潮堤高さが不足しているため、臨港道路南側に新たな水門を建設し、高潮対策事業を行うものです。

■南水門改良概要

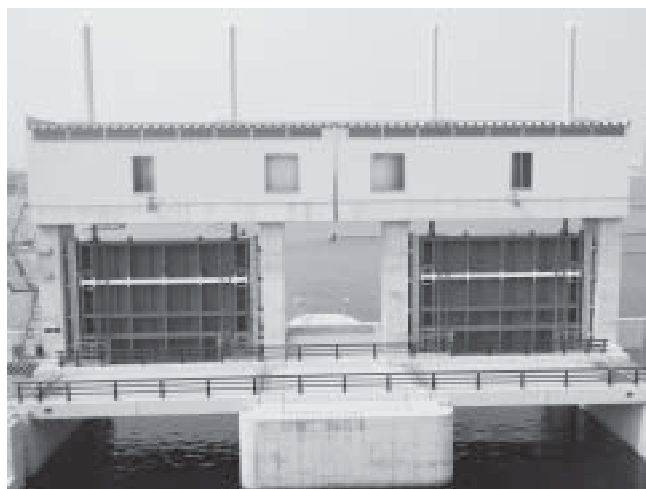
項目	既設水門	改良水門
水門幅	9m+5m+9m	9m+9m
水門の水深	戸当たり部 LWL DL-2.5m	LWL DL-2.5m
水門有効高さ	OP+4.50m	OP+4.50m
水門天端高さ (防潮高さ)	OP+5.00m 現況 OP+4.68m	OP+5.50m

3.事業概要

新南水門の事業概要は、次のとおりです。

- ・総事業費 約10億円
- ・水門形式 鋼製桁構造ローラゲート
- ・設置数 2門(純径間×有効高 W9.0m*H6.7m)
- ・水密方式 前面4方ゴム水密
- ・敷高 OP-2.15m
- ・設計震度 レベル1 0.14 レベル2 0.16
- ・開閉機 電動直線型ピンラック(連動型2本吊)
- ・揚程 常時 6.7m
- ・工事概要

測量試験費	31百万円	H19年度
基礎・本体工事	663百万円	H20-23年度
機械・電気工事	247百万円	H22-24年度
建築工事	35百万円	H23年度
付帯工事	22百万円	H23-24年度



4.おわりに

この8月に忠岡・岸和田地区の南水門が完成し、関係の方々には工事期間中はいろいろご不便をおかけしましたが、ご協力有難うございました。

国際コンテナ貨物拡大助成事業補助金申請随時受付中


堺泉北港港湾振興連絡協議会

堺泉北港港湾振興連絡協議会では、国際コンテナ貨物拡大助成事業補助金の申請を受付けております。

この事業は、昨年度から継続して実施している補助制度で、堺泉北港内航フィーダーコンテナ航路、もしくはコンテナ航路を新規で利用する国際コンテナ貨物の荷主に対して補助するものです。

補助事業の概要は下記のとおりです。

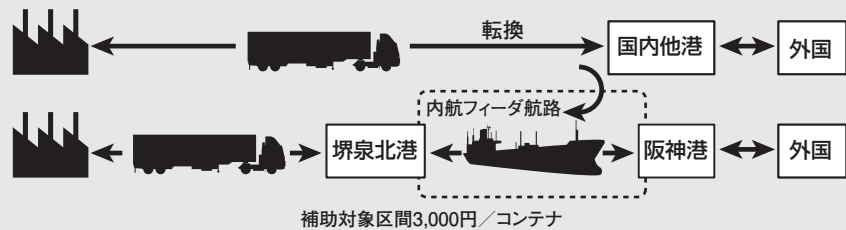
国際コンテナ貨物拡大助成事業

■補助金＝  コンテナ 1本／3,000円 但し、補助の合計が100万円を超えるときは100万円を上限とする

■補助金の対象となる事業

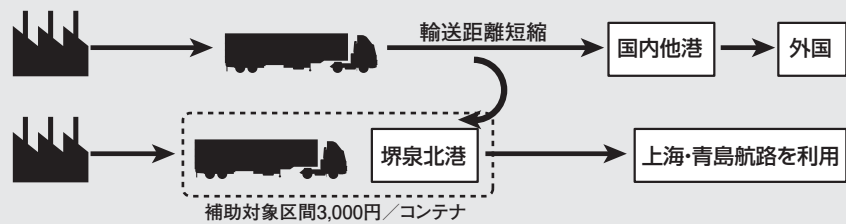
①海上モーダルシフト(陸上輸送から海上輸送への転換)

コンテナ貨物の国際海上輸送にあたって、堺泉北港に寄港する内航フィーダー航路を利用する海上輸送事業



②陸上輸送距離短縮(利用港を国内他港から堺泉北港に変更)

国際海上輸送(輸出)に供するコンテナ貨物の陸上輸送において、堺泉北港に寄港する外航コンテナ航路を利用することによって陸上輸送距離を短縮しようとする事業



■補助事業の仕組み

補助対象事業者 ＝ 法人たる荷主企業(他者から依頼を受けてコンテナ貨物を輸送することを業とする者は除く)

補助対象期間 ＝ 毎年4月1日以降で、事業開始日から翌年2月28日まで

交付の決定 ＝ 協議会が申請内容を審査(予算の範囲内で事業計画書のコンテナ個数の多いものから順に決定)

補助事業者 ＝ 毎月、[船荷証券]など堺泉北港での揚げ積みを確認できる書類を添付、翌月10日までに報告

補助申請受付期間 ＝ 平成25年1月31日まで

補助金、申請手続き等の詳細は…

堺泉北港港湾振興連絡協議会事務局(大阪府港湾局経営振興課経営振興グループ内) まで
TEL.0725-21-7203 WEB:<http://www.osakaprefports.jp/>

堺泉北港⇄神戸港内航コンテナフィーダー航路の運航スケジュールや料金の詳細は…

オー・オー・シー・エル(ジャパン)株式会社 西日本支店 セールス&マーケティング部
TEL.06-6266-0381 WEB:<http://www.oocl.com/japan/jpn/>

堺泉北港→(輸出)上海・青島コンテナ航路の運航スケジュールや料金の詳細は…

山九株式会社泉北支店 業務グループ 船舶代理店係
TEL.0725-22-9039 WEB:<http://www.sankyū.co.jp/index.html>

EVENT...

海の月間実施計画決まる

大阪府港湾局経営振興課経営振興グループ



海の恩恵に感謝するとともに海洋国日本の繁栄を願う日として、平成8年から「海の日」が祝日となり、平成13年6月の「国民の祝日に関する法律の一部を改正する法律」の成立により、平成15年から「海の日」は7月の第3月曜日となり、三連休化されました。

これを契機として、国土交通省をはじめとした政府関係機関で構成する「海の日」広報推進連絡会議において、7月を「海の月間」と定め、国民各層に「海の日」の意義を広めるなど、海事思想の普及のための活動を実施しています。

この期間を中心に、全国各地で各種行事が実施されますが、ここにご紹介するのは、大阪府港湾局周辺で開催される、当日参加が可能なイベントです。海の月間の趣旨をご理解いただき、皆様お誘い併せの上、是非ご参加ください。

イベント名	実施日時	実施場所	問合せ先
第15回岸和田ドラゴンボートレース(観覧のみ)	7月15日(日)	岸和田カンベンサイドモールマリーナ沖	岸和田ドラゴンボート協会事務局 072-440-1165
泉大津フェスタ第1部 (Eボート大会)	7月16日(月)	きららタウン前海域	泉大津フェスタ運営連絡会 0725-33-1131
岸和田港まつり花火大会	7月28日(土)※荒天中止	阪南1区岸壁	岸和田港振興協会 072-423-9618
第49回中学生「海の絵画コンクール」	7月25日(水)～9月23日(日)	なにわの海の時空館	公益社団法人 近畿海事広報協会 06-6573-6387
第34回「海の写真コンクール」	7月25日(水)～9月23日(日)	なにわの海の時空館	公益社団法人 近畿海事広報協会 06-6573-6387

「第52回親と子の写生会」で大阪府港湾協会賞贈呈

大阪府港湾局経営振興課経営振興グループ

平成24年5月19日(土) 泉大津市内の幼稚園から中学校の先生で構成された、泉大津美育研究会及び泉大津市文化連盟主催のもと、「第52回親と子の写生会～市庁舎と誠風中プラスバンドをかこう!～」が開催されました。

当日は、天気にも恵まれ、たくさんの親子が参加されました。参加者は、思い思いに泉大津の市庁舎やプラスバンドの練習風景を写生し、186点もの作品が集まり、その数多くの作品から23点が特別賞として選ばれました。

受賞された作品はどれも表現力がとても豊かで、心を打たれるような作品ばかりでした。

また、6月1日(金)～6月6日(水)の期間、泉大津CITYアルザアトリウム1階において展覧会が開催され、特別賞受賞作品をはじめ、参加者の作品が展示されました。

大阪府港湾協会賞としては、市庁舎を色彩豊かに描いた、条東小学校1年生 野村 忠營さんの作品が選ばれ、賞状とトロフィーが贈呈されました。



こどもネットワーク大阪湾クルーズ開催～こども洋上防災宣言～

泉大津市

平成24年5月17日(木)、阪九フェリーを貸切り、泉大津市制施行70周年記念事業の一環として、防災意識の醸成を育むことを目的に、広域災害ネットワーク相互応援協定を締結している海に面していない近畿圏内3市(京都府八幡市、奈良県大和郡山市、和歌山県橋本市)の小学生を招待し、本市の生徒と一緒に、洋上(大阪湾)にて防災宣言を行いました。

当日は、天候に恵まれ、総勢約400人の生徒が阪九フェリーに乗船しました。

船内見学や明石海峡大橋を洋上から眺め、また船上では金魚すくいに参加したりと、日常生活ではあまりできないことを体験し、他市小学校との交流を深めました。

また、洋上から防災宣言を行ったことにより、災害時においてお互いの市が力を合わせ、助け合うという広域災害ネットワークの趣旨を、参加したこども達も理解していただけたのではないのでしょうか。

本市も、泉大津港湾振興会と連携をして、市民が海や港に親しむ機会を設け、海への理解を一層深めてもらうよう努めてまいりますので、皆様のご協力をよろしくお願いします。



第2回堺泉北港ドラゴンボート大会開催

高石港湾振興会

平成24年6月17日(日)、大阪府立漕艇センターにおきまして、高石商工会議所主催、堺商工会議所、泉大津商工会議所並びに高石市、堺市、泉大津市共催による「第2回堺泉北港ドラゴンボート大会」が開催されました。

この大会は、泉北地域の市民と商工業者相互の絆を強めるため、地場産業物産展も同時に開催し、泉北地域の名産品等を来場者に紹介しました。

今回の大会は、2013年ハンガリーで開催予定の第11回世界選手権の二次選考会を兼ねた大会となり、その出場を目的として、日本各地から18チームの参加と市内の部として、地元から7チームが参加しました。

前日の大雨とは打って変わって天候にも恵まれ、午前8時から開会式、入魂式に続き、市内チームを対象とした250m競技が行われ、引き続き、直線が長く穏やかな波が特徴の浜寺水路を十分に活用した500m競技の「男女混合、オープン」を行いました。最終レースのオープン決勝では、和歌山県から参加した「熊野水軍」が、2位以下を引き離してゴールし優勝しました。

表彰式では、各クラスの優勝から3位のチームに表彰状とトロフィーが贈呈され、大会は終了しました。

大会結果

◆オープン500m決勝 (タイム)	◆市内の部250m決勝 (タイム)
優勝 熊野水軍 (2:19.08)	優勝 麒麟 (1:15.09)
準優勝 琵琶湖ドラゴンボートクラブ (2:25.00)	準優勝 チーム武部 (1:18.95)
3位 関西龍舟シンバ (2:25.13)	3位 高石市役所 (1:20.74)
◆男女混合500m決勝 (タイム)	
優勝 Torrid Storm (2:14.23)	
準優勝 関西龍舟シンバ (2:15.49)	
3位 東海龍舟 (2:20.41)	



平成23年 大阪府営港湾の港勢(堺泉北・阪南・深日・尾崎・泉州・泉佐野港)

大阪府港湾局経営振興課施設運営グループ

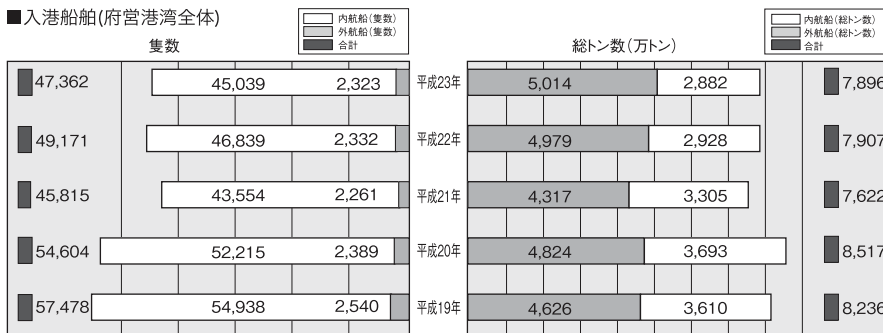
●府営港湾全体

大阪府が管理する8港のうち、港湾統計の対象である堺泉北・阪南・深日・尾崎・泉州・泉佐野港の6港湾の港勢(平成23年1月～12月)をとりまとめました。

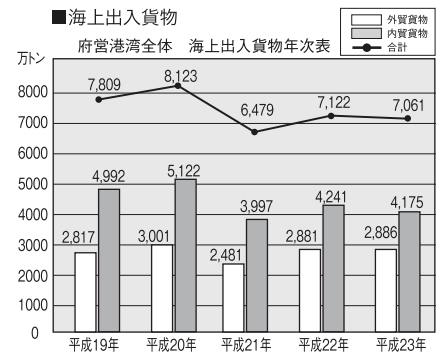
入港船舶数は、外航船が2,323隻、内航船が45,039隻で、合計47,362隻となっています。

取扱貨物量は、外貿が約2,886万トン、内貿が約4,175万トンで、合計約7,061万トンとなっています。

■入港船舶(府営港湾全体)



■海上出入貨物



●堺泉北港

◎全体

入港船舶数は、外航船が2,252隻、内航船が28,704隻で、合計30,956隻です。

取扱貨物量は外貿が約2,854万トン、内貿が約3,871万トンで、合計約6,725万トンです。

主要品種は、原油、完成自動車(フェリー含む)、LNG(液化天然ガス)、石油製品、鋼材となっています。

◎公共

主要品種は、外貿の輸出では完成自動車、金属くず、鋼材で、輸入が鋼材、木製品、非金属鉱物です。内貿の移出では、完成自動車(フェリー含む)、その他輸送用車両、鋼材で、移入は、完成自動車(フェリー含む)、砂利・砂、鋼材です。

泉大津～新門司間のフェリーの乗降人員は乗込が約8万人、上陸が約8万6千人で、合計約16万6千人が利用しています。

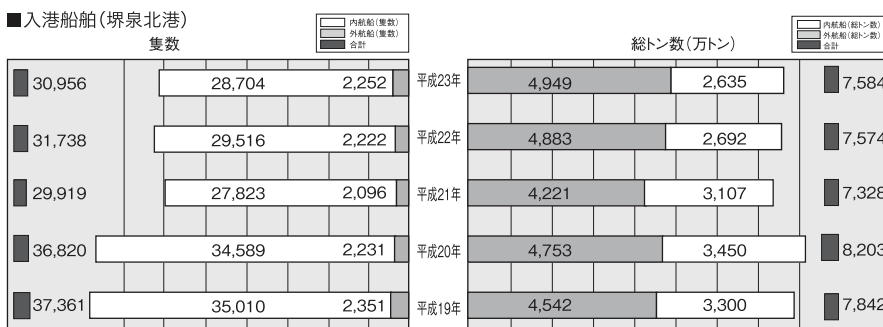
堺泉北港 取扱品種上位ランキング(外貿)

順位	輸 出		輸 入	
	種名	貨物量(千トン)	品種名	貨物量(千トン)
1	石油製品	1,818	原油	10,969
2	完成自動車	798	LNG(液化天然ガス)	8,743
3	化学薬品	579	石油製品	1,807
4	鋼材	202	LPG(液化石油ガス)	1,056
5	金属くず	201	鋼材	645

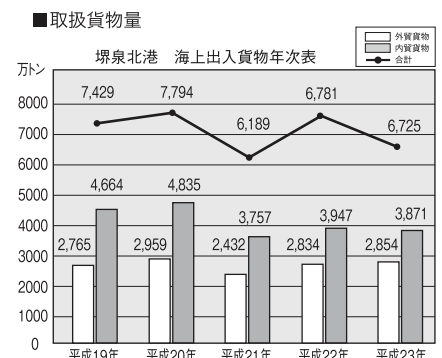
堺泉北港 取扱品種上位ランキング(内貿)

順位	移 出		移 入	
	品種名	貨物量(千トン)	品種名	貨物量(千トン)
1	完成自動車	4,914	完成自動車	5,403
2	石油製品	2,987	原油	5,145
3	鋼材	2,534	鋼材	3,640
4	重油	2,351	石油製品	1,859
5	化学薬品	1,070	砂利・砂	1,683

■入港船舶(堺泉北港)



■取扱貨物量



●阪南港

入港船舶数は、外航船が71隻、内航船が7,146隻で、合計7,217隻です。
 取扱貨物量は、外貿が約32万トン、内貿が約187万トンで、合計約219万トンです。
 主要品種は、外貿が原木、木材チップ、鋼材で、内貿が砂利・砂、石油製品、鋼材です。

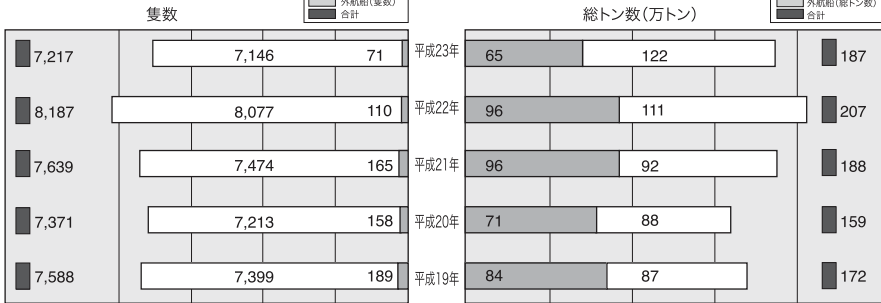
阪南港 取扱品種上位ランキング(外貿)

順位	輸 出		輸 入	
	品種名	貨物量(千トン)	品種名	貨物量(千トン)
1	鉄 鋼	7	原 木	154
2	鋼 材	2	木材チップ	131
3	-	-	鋼 材	14

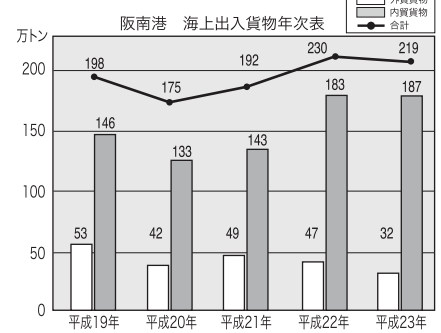
阪南港 取扱品種上位ランキング(内貿)

順位	移 出		移 入	
	品種名	貨物量(千トン)	品種名	貨物量(千トン)
1	砂 利・砂	65	砂 利・砂	884
2	再利用資材	32	石 油 製 品	215
3	原 木	24	鋼 材	174

■入港船舶(阪南港)



■取扱貨物量



●深日港

入港船舶数は16隻、総トン数は約8,474トン、全て係留船でした。関西国際空港の二期工事の終了に伴い、利用船舶も減少しました。

●尾崎港・泉州港・泉佐野港

尾崎港

入港船舶数は3,182隻、総トン数は約2万5千トン、取扱貨物量は105トンで水産品を扱っています。

泉州港

入港船舶数は5,950隻、全て内航船です。客船がほとんどで、5,701隻と全体の96%を占めています。乗降人員は下表のとおりです。取扱貨物量は移入が117万トンで、航空機燃料である石油製品を扱っています。

泉州港 客船乗降人員(人)

航 路	平成22年			平成23年		
	乗込	上陸	合 計	乗込	上陸	合 計
関空 ～ 神戸	198,172	205,642	403,814	177,604	189,028	366,632

※関空～洲本航路は平成19年4月より休航になりました。

泉佐野港

平成10年から淡路島(津名)との間に就航していたフェリーは、平成19年2月より休航になりました。

入港船舶数は41隻、総トン数は約2,541トン、全て係留船でした。

●港別入港船舶及び海上出入貨物状況

港名		入港船舶		取扱貨物量	取扱貨物量の内訳					
		隻数	総トン数		外 貿			内 貿		
					計	輸 出	輸 入	計	移 出	移 入
		隻	G/T	トン	トン	トン	トン	トン	トン	トン
堺泉北港	全 体	30,956 (354)	75,838,369 (4,730,632)	67,253,935 (9,173,130)	28,541,359 (-)	3,964,127 (-)	24,577,232 (-)	38,712,576 (9,173,130)	16,514,502 (4,567,560)	22,198,074 (4,605,570)
	う ち 公 共	7,149 (354)	20,260,720 (4,730,632)	15,929,996 (9,173,130)	2,687,132 (-)	1,152,387 (-)	1,534,745 (-)	13,242,864 (9,173,130)	6,019,532 (4,567,560)	7,223,332 (4,605,570)
阪南港	全 体	7,217	1,867,227	2,192,636	320,176	8,962	311,214	1,872,460	141,579	1,730,881
	う ち 公 共	6,843	1,596,427	1,883,141	320,176	8,962	311,214	1,562,965	141,579	1,421,386
深日港	全 体	16	8,474	0	-	-	-	-	-	-
	う ち 公 共	16	8,474	0	-	-	-	-	-	-
尾崎港	全 体	3,182	25,456	105	-	-	-	105	-	105
	う ち 公 共	3,182	25,456	105	-	-	-	105	-	105
泉州港	全体	5,950	1,220,493	1,166,480	-	-	-	1,166,480	-	1,166,480
泉佐野港	全 体	41 (0)	2,541 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	う ち 公 共	41 (0)	2,541 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
合 計	全 体	47,362 (354)	78,962,560 (4,730,632)	70,613,156 (9,173,130)	28,861,535 (-)	3,973,089 (-)	24,888,446 (-)	41,751,621 (9,173,130)	16,656,081 (4,567,560)	25,095,540 (4,605,570)
	う ち 公 共	17,238 (354)	21,893,896 (4,730,632)	17,813,242 (9,173,130)	3,007,308 (-)	1,161,349 (-)	1,845,959 (-)	14,805,934 (9,173,130)	6,161,111 (4,567,560)	8,644,823 (4,605,570)

注: 下段は内数公共。()内は、フェリーを表す。

大阪府営港湾ポートセミナー開催

大阪府港湾局経営振興課経営振興グループ

大阪府港湾協会及び堺泉北港港湾振興連絡協議会・阪南港港湾振興連絡協議会とともに、千葉・大阪において大阪府営港湾ポートセミナーを開催しました。

千葉

堺泉北港における内航定期RORO/フェリーを活用した物流効率化の提案をするために、千葉県において、ポートセミナーを開催しました。

千葉港と堺泉北港は、大王海運(株)の運航する内航RORO定期航路で結ばれており、千葉県に拠点がある企業を対象に、航路サービスや倉庫等物流機能サービスの紹介を行いました。また、セミナー翌日には、大王海運(株)と共同でポートセールスを実施し、県内12社を訪問しました。

開催日…平成24年2月15日(水) 開催場所…ホテルポートプラザちば 2階 ロイヤルII 参加人数…75名

内容

- 開会の挨拶 大阪府港湾局長 井上 博睦
- 府営港湾のご紹介 大阪府港湾局経営振興課長 中村 俊策
- 事業紹介 「宮崎県港湾の概要」
宮崎県県土整備部港湾課
空港・港湾ポートセールス対策監 矢野 透 氏
- 事業紹介 「関東～西日本定期RORO船輸送サービスについて」
大王海運(株) 定期船事業部 営業部 営業一課 課長 村岡 高明 氏
- 事業紹介 「堺泉北港におけるトランシップの取り組みについて」
八興運輸(株) 本社事業部 部長 佐藤 博文 氏
- 事業紹介 「山九内航定期コンテナ輸送サービス」
山九(株) ロジスティクス・ソリューション部 3PL事業部
M-3PLプロジェクト班 合理化推進グループ マネージャー 村山 茂 氏



会場の様子



井上港湾局長

大阪

堺泉北港と内航定期航路で結ばれている宮崎から、宮崎県県土整備部の共催を得てポートセミナーを開催しました。

セミナーでは、府営港湾の知名度向上とともに、より一層の利用促進を図るため、船会社・代理店・物流関係企業・港湾運送事業者・荷主企業等の方にお集まりいただいた中、内航定期航路強化の取り組みをはじめとした府営港湾の紹介やPRを行いました。

また、セミナー後は、主催者と参加者の情報交換や商談会を兼ねた交流会を開催しました。

開催日…平成24年3月26日(月) 開催場所…ヒルトン大阪「桜園・桜山」 参加人数…184名

内容

- 開会の挨拶 大阪府港湾局長 井上 博睦
- 府営港湾のご紹介 大阪府港湾局次長 河野 敬太郎
- 事業紹介 「宮崎県港湾の概要」
宮崎県県土整備部港湾課 空港・港湾ポートセールス対策監 矢野 透 氏
- 事業紹介 「関東～西日本定期RORO船輸送サービスについて」
大王海運(株) 定期船事業部 営業部 大阪営業所 所長 高橋 敏喜 氏
- 事業紹介 「大阪府営港湾における阪九フェリーとモーダルシフト」
阪九フェリー(株) 関西支店 貨物課 課長 下田 浩二 氏
- 事業紹介 「内航フィーダーサービスの取り組みについて」
オー・オー・シー・エル(ジャパン)(株) 西日本支店
アジア部 部長 吉田 辰生 氏



会場の様子



河野港湾局次長

大阪府営港湾国際経済セミナー開催

大阪府港湾協会

平成24年3月9日(金)、堺国際ビジネス推進協議会との共催により、府営港湾関連企業や府営港湾進出団体の方を対象とした「国際経済セミナー2012」を開催しました。

本セミナーでは、テレビ等でコメンテーターとしてご活躍中の、国際ジャーナリストの竹田 圭吾氏をお招きし、「円高の推移と世界経済の今後の行方」をテーマに、円高の動き、世界経済や国際情勢のトレンド、さらにそれらを踏まえた日本経済の今後についてご講演いただきました。

参加者の方々からは、貿易動向の背景にある経済情勢を知ることができ、今後の需要予測に役立つ、などの御感想をいただきました。

開催日 平成24年3月9日(金)

開催場所 リーガロイヤルホテル堺

参加人数 76名

内 容 ・主催者挨拶

大阪府港湾協会会長 金盛 弥

・講演

「円高の推移と世界経済の今後の行方」

国際ジャーナリスト 竹田 圭吾 氏

主 催 大阪府港湾協会

共 催 堺国際ビジネス推進協議会

後 援 公益財団法人大阪産業振興機構

協 力 大阪府、日本貿易振興機構(JETRO)大阪本部、堺港湾振興会、高石港湾振興会、泉大津港湾振興会、岸和田港振興協会、貝塚港湾振興会



大阪府営港湾新人研修会実施

堺泉北港港湾振興連絡協議会・阪南港港湾振興連絡協議会

府営港湾を利用されている企業や各種団体の新入社員・職員の皆さん、また他地域から転入して来られた方々を対象に、「大阪府営港湾新人研修会」を開催しました。

研修会では、府営港湾について理解を深めていただき、日常の業務に役立てていただくことを目的として、大阪府港湾局の職員が府営港湾の現況や事業、保安対策について概要をご紹介します。また、昨年に引き続いて、府営港湾における災害対策の取り組みや災害発生時の対応についても重点的にご説明しました。

研修会後のアンケートでは、多くの参加者から、講義の内容がよく理解でき、受講目的が達成されたとのことご回答をいただきました。今後も充実した研修会を開催して参ります。

実施日 平成24年5月31日(木)

場 所 堺泉北港ポートサービスセンタービル2F きららホール

参加者 49名

主 催 堺泉北港港湾振興連絡協議会(大阪府、堺市、高石市、泉大津市)
阪南港港湾振興連絡協議会(大阪府、岸和田市、貝塚市、忠岡町)

内 容 「港湾局事業の概要について」

大阪府港湾局計画調整課計画グループ 総括主査 村田 隆彦

大阪府港湾局経営振興課経営振興グループ 総括主査 前田 実

「港湾の保安対策について」

大阪府港湾局総務企画課危機管理グループ 主査 佃 計司

「港湾・海岸部の防災対策について」

大阪府港湾局総務企画課危機管理グループ 主査 原田 雄造



■2012年4月24日(火)大阪府港湾局訪問

グリーンアワード財団(オランダ)

理事長 ヤン・フランセン氏(Mr.Jan Fransen)

職員(認証担当) 篠原啓太氏

このたび、オランダよりグリーンアワード財団が、大阪府港湾局を訪問されました。

グリーンアワード財団は、1994年にオランダ・ロッテルダム市港湾局及びオランダ運輸省によって設立され、2001年以降、独立の非営利組織として、クオリティシッピング(安全・品質・環境に適した船舶)への認証を行うための審査・提供にかかる活動や、同基準を満たした船舶に対して優遇措置を与えるよう、港湾管理者に対し協力を求める啓発活動などを行っています。

今回の来日では、国土交通省や大手邦船社、国内の主要港湾、特に、堺泉北港など大型タンカー、LNG船の入港があるエネルギー拠点港湾等の管理者を来訪され、同財団の環境・安全活動等に関する事業活動の報告と、港湾管理者としての優遇制度の導入推進等について普及啓発されました。



ようこそ大阪府営港湾へ ～初入港のご紹介～ 大阪府港湾局経営振興課経営振興グループ

大阪府港湾局では、府営港湾の公共埠頭に初めて入港する船舶に対し、大阪府港湾協会や地元市港湾振興会と協力して初入港の歓迎セレモニーや初入港記念楯の贈呈を行っています。

かしま 4,050トン(基準排水量)

平成24年3月22日(木)

堺泉北港大浜埠頭第5号岸壁Aバース

海上自衛隊練習艦

かしまは、平成24年3月20日から平成24年5月21日まで実施された海上自衛隊の近海練習航海に合わせ、平成24年3月22日に入港しました。

かしまは、第一線の護衛艦並みの実習訓練が可能な専用練習艦であることに加え、我が国を代表して外国を親善訪問することから、国家元首級の来艦にも対応できる特別公室の区画も有しています。

22日には、大阪府港湾局から初入港楯が、かしまから返礼に乗艦記念楯が贈呈されました。



INFORMATION

運営委員会

<平成23年度 第3回>

日時：平成24年3月16日(金) 午前10時～

場所：堺泉北港ポートサービスセンタービル 2階

201・202号室

議事：(1)平成23年度事業報告について

(2)平成24年度事業について

(3)その他

<平成24年度 第1回>

日時：平成24年6月15日(金) 午前10時～

場所：堺泉北港ポートサービスセンタービル 2階

201・202号室

議事：(1)平成23年度事業報告並びに収支決算報告

(2)平成24年度事業計画(案)並びに収支予算(案)

(3)その他